



11/28(土)  
13:00 ~ 15:30

生活環境学科 入場無料 要申込

# 震災時の衣食住 いろいろ体験しておこう!

関東大震災から92年が経過しています。同規模の震災が首都圏で発生すれば、人口が密集しているだけに、被害も甚大、避難生活も大変なものになると言われています。この回の講座は、そういった非常事態で役立つ体験を平時にしておこうという趣旨で開催します。衣・食・住と関わる体験をしてみませんか?

[タイムテーブル] [進行] 実践女子大学生生活環境学科教授 楨 究

13:00~	開会の挨拶	実践女子大学生生活環境学科 教授 楨 究
13:05~13:30 本館2階231実験室	ちょっとの水で洗濯できる Tシャツなど、洗ってみたい衣類をお持ちください。ビニール袋と洗剤で簡単に汚れが落ちます。	実践女子大学生生活環境学科 教授 牛腸 ヒロミ
13:40~14:20 本館5階536教室	燃料がなくてもお湯は沸く① ~ソーラークッカーの作り方~ 家庭に有る材料あるいは100円ショップで手に入る材料で簡易型の太陽熱を利用した調理器を作成します。首尾よくお湯が沸いたら、ティータイムと致しましょう。	実践女子大学生生活環境学科 教授 塚原 肇
14:30~15:20 体育館	体育館を仕切る 段ボールなどの身近な材料で、体育館を仕切ってみます。避難生活の中で、プライバシーを感じられるスペースを作れるでしょうか。家族連れでの参加、歓迎します。	実践女子大学生生活環境学科 教授 高田 典夫
15:20~15:30 本館5階536教室	燃料がなくてもお湯は沸く② ~ティータイム~	

## [申込み方法]

10/15より申込受付。氏名、参加人数と大人・小人(小学生以下)の別、連絡先(メールアドレス)を明記の上、下記メールアドレス宛にお申し込みください。(定員20名/定員になり次第締切)

実践女子大学生生活環境学科 メールアドレス seikan@jissen.ac.jp



【平成27年度】公開市民講座

暮らしを  
とらえなおす

地域の皆様と共に歩んできた実践女子大学生生活科学部は、日野にキャンパスを開いてから今年でちょうど50年になります。今回は原点を見直すという意味も含めて、「暮らしをとらえなおす」をテーマとした講座を開催します。スピードや効率のみを追求するのではなく、私たちの衣・食・住・育、そして地球環境や心の問題などについて市民の皆様と「暮らし」についてじっくりと考えたいと思います。ぜひ足を運んでください。

## 実践女子大学

実践女子大学(日野キャンパス)  
東京都日野市大坂上4-1-1

【主催】実践女子大学・実践女子大学短期大学部 公開講座委員会 【後援】日野市  
【アクセス】

- 日野駅から
  - 徒歩: 約12分
  - 日野ミニバス【豊田駅北口行】約4分+「実践女子大学」下車、徒歩約1分
- 高幡不動駅
  - 京王バス【日野駅行】約14分+「日野市役所」下車、徒歩約6分
  - 日野ミニバス【豊田駅北口行】約23分+「実践女子大学」下車、徒歩約1分

実践大学ウェブサイト内 公開市民講座 案内ページ  
<http://www.jissen.ac.jp/society/seminar/>

問い合わせ先: 実践女子大学学務部庶務課 TEL: 042-585-8817

